



# 燦さんらん 爛

## 3年生と1年生が 性と福祉を学習

今週は、3年生と1年生が、それぞれ「性」に関する学習と「福祉」に関する学習を行いました。

いずれもゲストティーチャーをお招きして行ったものですが、性教育と福祉教育には「人権の尊重」「自己理解と自己管理」「コミュニケーション能力や対人関係などの社会的スキルの習得」「単なる知識の伝達にとどまらない実際の生活に役立つ包括的なアプローチ」といった共通点も多く、こうした学習を通して、生徒たちのより豊かな人間関係づくりや健康で安全な生活につなげていくことを目指しています。

10月30日(水)、3年生が小児科医のY. S先生を講師にお迎えして、「性教育講座」を行いました。昨年度は、7月PTAの際に親子講演会として開催したこの講座でしたが、今年度の親子講演会ではキャリア講話を行いましたので、性教育講座はこの時期の開催となりました。

## 3年 性教育講座

Y. S先生は、ご自身のエピソードなど親しみやすいお話も交えながら、「思春期に培ってほしいこと」や「月経や精通などの性についての知識」「男女の性に対する考え方の違い」「避妊について」「性被害について」「相手を思いやることや命の大切さ」などについて、生徒たちに分かりやすく伝えてくださいました。中でも「10代の妊娠、出産のリスク」や「SNSの危険性」といったことについては、かなり具体的に教えてくださり、我々大人にとっても大変勉強になる内容でした。



講師のY. S先生

真剣に話を聞く3年生

「特に女子本位に言いたい自分の体と人生を大切にすること、望まない妊娠をしない、女子は自分の体と人生を自分で守ってほしい」というメッセージを伝えています。



Y. S先生からのメッセージ

3年生の中には、不安に思っている親や学校の先生には相談しにくい疑問や悩みを持っている生徒もいるようですが、今回の講座を通して、少しはもやもやが晴れたのではないかと思います。

## 1年 菜のはなタイム

10月31日(木)、1年生が「菜のはなタイム」を実施しました。これは、障害や介助の体験学習であり、今後行われる「ボッチャ交流会」や「車椅子バスケットボール体験」にもつながる「心のバリアフリー学習」の一つとして行ったものです。小学校でも、福祉に関わる学習として行っているようですが、本校では、大仙市社会福祉協議会等のご協力の下、1年生がこの体験学習を実施させていただいております。

この日は、講師のE. Kさん(電動車椅子生活者)とヘルパーさん、社会福祉協議会の方、見守りボランティアの皆さんなど8名がご来校くださいました。はじめにE. Kさんから、「交通事故で車椅子生活になって、初めて周りの人たちに感謝する気持ちをもつようになった。バリアフリー社会を実現するためには、出入り口や通路の段差などの“物理的なバリア”、目が不自由な人のための音声案内等がなく、必要な情報が得られない“文化・情報面でのバリア”、障害を理由に試験が受けられないなどの“制度的なバリア”、『かわいそうだから』と特別扱いする“意識上のバリア”を取り除くことが必要と言われているが、一番大事なのは、最後の“意識上(心)のバリア”をなくすことだと思う」といったことをお話いただきました。実際に車椅子で生活している方の生の声は、生徒たちの心にも強く響いていたようです。



講師のE. Kさん



(写真左から)車椅子体験、視覚不自由体験、高齢者体験

その後、グループごとに「車椅子体験」や「視覚不自由体験」、「高齢者体験」などをさせていただきました。様々な装具によって「動きにくさ」や「見えにくさ」などを体験することを通して、日頃当たり前に見えることでも人によっては困難なことがあることや、人を支援するときには、相手の立場で考えることが大切であるといったことを実感できたようです。